

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成24年2月2日 (2012.2.2)

【公表番号】特表2008-546962(P2008-546962A)

【公表日】平成20年12月25日 (2008.12.25)

【年通号数】公開・登録公報2008-051

【出願番号】特願2008-517378(P2008-517378)

【国際特許分類】

F 1 6 H 61/02 (2006.01)

F 1 6 H 59/42 (2006.01)

F 1 6 H 59/68 (2006.01)

F 1 6 H 59/70 (2006.01)

F 1 6 H 59/72 (2006.01)

F 1 6 H 59/74 (2006.01)

F 1 6 H 61/68 (2006.01)

【F I】

F 1 6 H 61/02

F 1 6 H 59:42

F 1 6 H 59:68

F 1 6 H 59:70

F 1 6 H 59:72

F 1 6 H 59:74

F 1 6 H 103:00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年11月16日 (2011.11.16)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 6】

所望体積流と、二つまたは単独の補助オイルポンプによって供給可能な体積流との間の比較の結果として、最後の体積流が十分でない場合には、所望体積流影響装置によって、対策(Massnahmen)が影響を受け、体積流減少ないし圧力需要減少に導かれる。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 7】

このことは、運転者に対する自動変速機の規則戦術での介入による対策の適切な選択によって、変速機オイルの僅かなまたは概ね僅かな瞬間的な体積流需要が、かなり下げられ、これが取り付けられたポンプキャパシティによって充填される、という利点を有する。このように、操作範囲をカバーすることができ、当該操作範囲では、従来の駆動制御装置による取り付けられたポンプキャパシティは充分でない。さらに、大抵の操作要求に対する大きさを越えたポンプキャパシティによって、取り付けが放棄される。このことは、コストを軽減させるとともに、消費および効率を向上させる。所望体積流および/または供給可能な変速機体積流を決定するためのモデルの使用は、通常の圧力センサー技術を、過

剰にすることができる。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0033

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0033】

この比較が論理 No を供給すると、この比較の結果は、計算ブロック 20 に供給され、この計算ブロック 20 で、実際の自動変速機の体積ないし圧力需要の減少のための対策 (Massnahmen) が行われる。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0035

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0035】

計算ブロック 20 が制御される場合、自動変速機の制御戦術において介入がなされる (eingegriffen)。ここで、特に、支配された操作条件の各々により、制御戦術における供給需要のための一つまたは多数の惹起 (Verursacher) により、種々の介入がなされる。対策は、例えば、クラッチ充填圧力の減少による液体圧クラッチアクチュエータの充填における介入であり、充填時間を容易に延長して発生を変化させる。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0036

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0036】

この対策により、場合によっては、変速機制御において運転者が認識できる介入がなされ、別の対策により、例えば許容限界が、実際に供給される必要のある所望体積流が供給可能なものとして未だ評価されるよう、変速機操作に対して短い時間でさらに切り換えられる。このため、実際の空気温度、冷却温度、および、場合によっては運転特徴に関する運転者のプロフィールのさらなる境界条件に依存して、オイル冷却のための需要が下げられる。